

# 第6次麻績村振興計画 概要版

将来像 『明るい未来へつながる 元気な麻績村』

基本構想 平成25年度～平成34年度

基本計画 前期 平成25年度～平成29年度  
後期 平成30年度～平成34年度

## 基本目標

### I 学び 育み 生涯を豊かに生きる 村づくり

子どもたちが心豊かに育つために、家庭、学校、地域がひとつになって、子どもを育てるための、よりよい環境づくりに努めます。また、住民誰もが自己目標の実現ができるよう、学習環境の整備を行い、一人ひとりが生涯輝くことのできる村づくりを進めます。

### II 支え合い 見守り合い 健やかに暮らせる 村づくり

生涯健康で元気に生活できることは、すべての住民の願いです。乳幼児から高齢者まで、各年代層に応じた健康支援策を講じるとともに、医療・福祉制度の充実、体制の整備を進めます。また、誰もが自立した豊かな暮らしができる村づくりを推進します。

### III 自然とともに 安全で 住みよい 村づくり

安全で安心できる生活環境と、災害・犯罪の少ない社会をつくるには、地域全体での取り組みが必要です。そのためには、住民、関係機関、行政が一体となって務めを果たし、安心して暮らせる村を目指します。また、自然環境の保全や循環型社会を推進し、自然と調和した快適で住みよい村づくりを進めます。

### IV 地域資源を生かした 元気あふれる 村づくり

豊かな自然と魅力ある田園風景は、訪れた人々に安らぎと潤いをあたえます。この様な地域資源を活用した交流事業を推進します。また、村の魅力を発信して多くの人が集う元気あふれる村づくりを進めます。

### V つながり大切に 互いに力をあわせる 村づくり

住民が手を取り合って互いに力を合わせて形成するコミュニティは、地域の活性化に欠かせません。コミュニティの醸成を支援し、人と人がつながる温かい村づくりを進めるとともに、住民が心身ともに充実した生活を送ることができる人にやさしい村づくりを進めます。

### VI 信頼を深め 住民とともに進める 村づくり

よりよい地域づくりを進めるためには、住民と行政が手を携え、課題を解決していく体制をつくる必要があります。行政の積極的な情報発信と住民が積極的に行政に参加できる村づくりを進めます。

# 後期基本計画

## はじめに

人口減少、出生率低下による少子高齢化の流れは加速し、麻績村と日向村が合併した昭和31年当時5,000人を超えていた人口は、平成27年の国勢調査で2,788人に減少しています。

そこで、第6次麻績村振興計画において『明るい未来へつながる 元気な麻績村』を村の将来像と定め、基本目標を柱に、平成25年度から平成29年度まで5年間の前期基本計画を進めてきました。

その結果、前期5年間の人口異動状況は、社会増減人口（長野県統計情報）においてプラス13.6人という大きな成果を上げることができました。

今後5年間の後期基本計画を策定し、引き続き明るい元気な麻績村づくりを目指します。

## I 学び 育み 生涯を豊かに生きる 村づくり

### 【学校教育】

幼児期から子どもたちの発達や学びの連続性を確保する観点から、支援や教育が途切れることのないよう一貫教育を推進し、保育園・小学校・中学校がそれぞれに連携して、今まで以上に同じ教育観を共有し、横のつながりを一層充実させた教育環境を整え、一人ひとりと向き合い「個」の良さを伸ばし、志を育てる教育の継続を図ることが重要になります。

## II 支え合い 見守り合い 健やかに暮らせる 村づくり

### 【高齢者福祉】

高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を営むために、限りある社会資源を効率的かつ効果的に活用しながら医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」の構築を進めていきます。

### 【介護保険】

元気な高齢者をはじめとする住民主体の活動や生活支援協議体による支援・協働体制の充実・強化を図ります。

## III 自然とともに 安全で 住みよい 村づくり

### 【防災体制】

住民が迅速かつ安全に避難できるようにハザードマップなどを活用して避難場所の明確化と周知を図るとともに、避難所となる公共施設などの安全対策や設備の充実を図ります。

自主防災組織及び地域住民が行う、防災・減災にかかわる取り組みに対して支援をするとともに、普及啓発に努めます。

地域での共助力向上のため、日頃から避難行動に支援が必要となる高齢者や障がい者の把握とともに、支援者や避難所などの情報を記載する「災害時住民支え合いマップ」の各地区における作成を進め、情報共有を図ります。

## IV 地域資源を生かした 元気あふれる 村づくり

### 【農業】

従来から集落営農の組織化などが図られてきましたが、地区によっては限界があるので、今後は営農希望者を村外から積極的に呼び寄せ、将来の担い手になり得る人を確保する必要があります。

新規就農者、担い手、集落営農組織などに対する支援を強化し、地域営農の活力を生み出します。

### 【商工業】

麻績インターチェンジなど交通の利便性を生かした企業誘致を検討し、新たな働き方を含めた雇用を確保することが課題となっています。

商工会や新たな起業家などと連携し、地域商業を活性化させるための支援や環境づくりが求められています。

村内に整備された情報基盤光回線を活用してテレワークという新たな働き方を創設し、企業誘致、若者起業支援、更にICT教育環境整備による学習塾など教育関連産業の推進を図ります。

### 【観光】

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックには、多くの外国人等観光客の訪日が予想されます。国でもオリンピックを商機とし、さらにインバウンド需要を高めようと、東京に訪れた外国人等観光客を、イベント等を通じて地方への環流を促す動きがあります。

村としても外国人等観光客や高齢者などへ配慮した魅力ある観光地づくりを進め、より多くの観光客等を迎え入れるために、地域住民や関係団体、近隣市町村などと連携した観光施策により観光事業を振興する必要があります。

## V つながり大切に 元気あふれる 村づくり

### 【人口増加対策】

子どもを産み育てやすい環境づくり、生活しやすい環境づくり、居住ニーズにあった住環境づくりなど、麻績村で生まれ育った方たちの定住はもちろん、移住を希望する方の移住先の候補地となるような魅力ある環境づくりも必要となります。

空き家・農地等の相談体制を整備するとともに、移住後の相談や田舎暮らし情報の提供・支援体制の充実を図ります。また、県との連携による長野県版のモデルの構築を推進します。

農業で自給し自分の好きな仕事と両立させる「半農半X」など新しい働き方を推進します。

## VI 信頼を深め 住民とともに進める 村づくり

### 【住民参加による行政の推進】

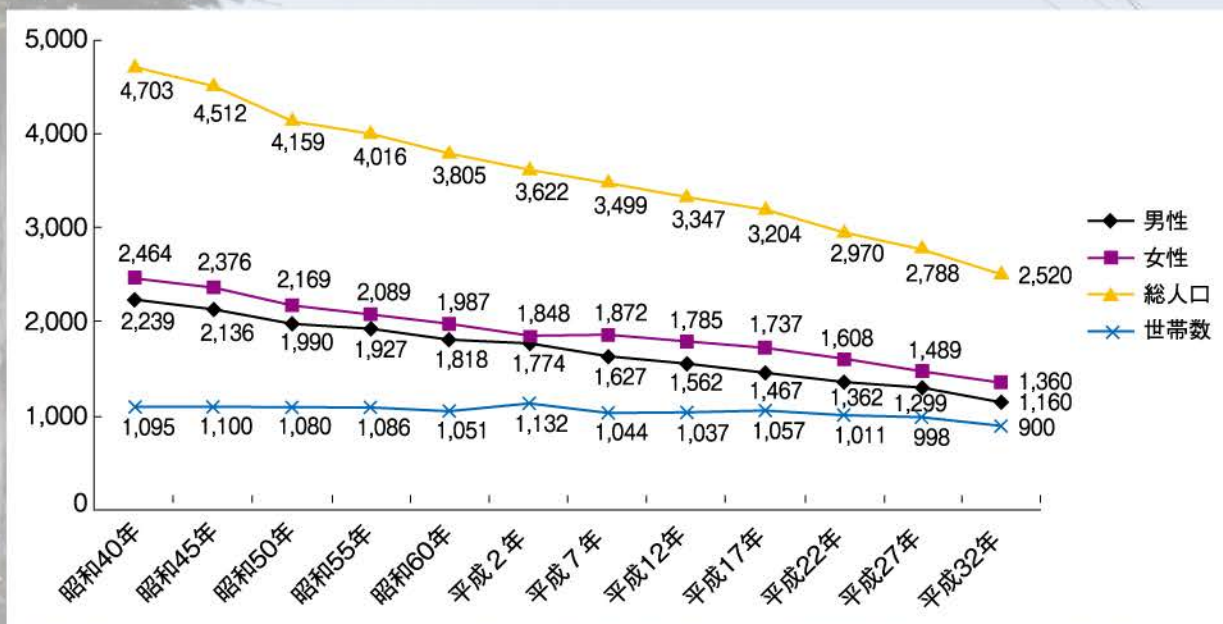
少子高齢化の進行や人口の減少、厳しい社会経済状況など様々な環境変化への対応、多様化する住民ニーズや地域課題を解決するためには、行政だけでは困難になっており、従来の行政主導型から「住民との協働による仕組み」へ一層の推進が必要となっています。

# 人口の見通し

わが国の総人口減少、出生率低下などによる少子化の進行、高齢化の流れの急速化は、麻績村においても同様です。

昭和31年の合併によって新たに麻績村が成立した当時5,000人を超えていた人口は、平成27年10月1日現在2,788人(国勢調査)に減少しています。

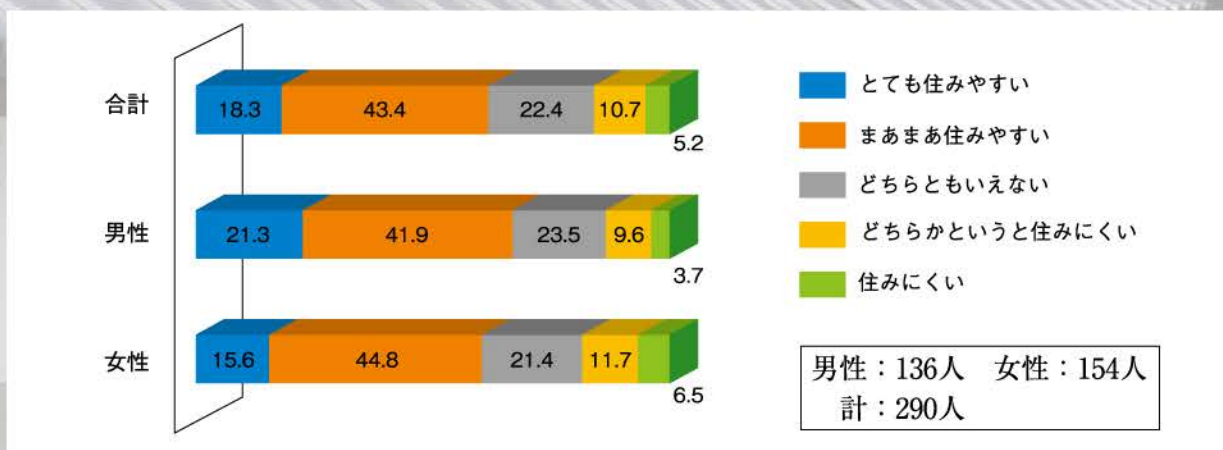
国立社会保障・人口問題研究所の推計によると平成32年には2,520人になると予測されています。



## 住民アンケート調査結果

### 麻績村の住みやすさ

より多くの住民の皆さまが住みやすい環境となるよう、よりよい村づくりに努めます。



内訳	一般	16歳以上(平成29年1月1日現在)以上70歳以下の者
		調査人数：400人 回答者数：212人 回答率：53.00%
	小・中学生	小学5・6年生、中学生(平成29年4月1日現在)
		調査人数：84人 回答者数：78人 回答率：92.86%
計		調査人数：484人 回答者数：290人 回答率：59.92%

# I 学び 育み 生涯を豊かに生きる 村づくり



おみっこ元気くらぶ

## ●学校教育

- (1) 子どもたちの健康増進
  - ①地産地消の推進
  - ②地域の特色を生かした食育
  - ③地域の大学等と連携した健康管理
- (2) 特別支援教育の一層の充実  
「北部まなびの教室」(LD等通級指導教室)の充実
- (3) 情報通信技術(ICT)の活用・情報教育の充実  
オンライン会議システムを利用した他地域交流・遠隔授業の実施
- (4) ふるさと教育・外国文化交流事業の充実
  - ①生まれ育った郷土を学ぶ「ふるさと教育」
  - ②地域の方々を講師とした外国文化交流事業

## ●生涯スポーツ

- (1) 住民スポーツの充実
  - ①住民ニーズを把握したスポーツ教室の開催
  - ②高齢者や障がい者などの社会参加の推進を図るスポーツ活動の普及
- (2) 競技スポーツの振興
  - ①各種団体と連携した競技スポーツの人口の増加
  - ②競技スポーツ選手の育成に向けた学校教育
  - ③少年スポーツクラブ活動への支援



村長杯(マレットゴルフ大会)



少年剣道クラブ

## ●文化財・地域文化

- (1) 文化財の保護保存
  - ①講演会や講習会などによる啓発活動
  - ②郷土史研究や文化財保護のためのガイド等の育成支援
- (2) 文化財の活用と連携
  - ①文化財マップやガイドブックの作成
  - ②地域の文化財等の情報発信・活用
  - ③小中学生が郷土を学ぶ「ふるさと学習」の継続

## ●子育て

- (1) 一貫性と連携強化
  - ①年代別の相談事業における窓口の明確化
  - ②広域での子育て支援体制の構築
- (2) 妊娠期から幼児期への支援・援助
  - ①育児交流の場「ひだまり広場」
  - ②出産祝金・育児支援金など経済的な支援
- (3) 幼児教育と保育の充実  
地域の子育て家庭に施設を開放し、「子育て相談」の実施
- (4) 育成支援体制の充実  
森の学園構想による地域の方々や大学生とともに、自然・文化・仲間とのかかわりを深める「おみっこ元気くらぶ」や「放課後子ども教室」などの実施



元気に遊ぶ園児たち



ひだまり広場

## ●生涯学習

- (1) 地域交流センターの活用  
各種関係団体と連携した学習会や講座、講演会などの開催
- (2) おみ図書館の活用
  - ①公民館講座や社会福祉協議会などとの連携
  - ②幅広い世代の要望に合わせたサービスの提供



麻績学級の開催

## ●青少年健全育成・キャリア教育

- (1) 心豊かでたくましい青少年の育成  
家庭、学校、地域社会及び関係団体・行政が協働で実施する青少年育成事業
- (2) 「個」の良さを伸ばし、志を育てる教育



改修された麻績神明宮



国の登録有形文化財に指定された旧麻績小学校北校舎(麻績学舎)

## Ⅱ 支え合い 見守り合い 健やかに暮らせる 村づくり



ふくしのつどい

### ●高齢者福祉

- (1) 高齢者福祉の充実
  - ①「地域包括ケアシステム」の構築
  - ②高齢者が在宅で暮らしていただける支援
- (2) 介護保険
  - ①活動的で生きがいの持てる生活環境づくり
  - ②地元医師会と協働した在宅医療・介護連携

### ●人権

- (1) 人権教育・啓発
  - ①毎年実施されている「人権指導者研修会」の充実
  - ②若い世代からの人権教育の実施、学習機会の提供
- (2) 男女共同参画  
イベントや学習会の開催による意識の高揚
- (3) 多文化共生  
各種団体との多文化共生に向けての協力



「人権指導者研修会」の開催



おみ図書館外国文化交流



敬老会

### ●保健衛生

- (1) 保健・医療の充実
  - ①特定健診やがん検診の受診勧奨
  - ②若者健診による早期発見
- (2) 医療制度(国民健康保険・後期高齢者医療保険)
  - ①後期高齢者健診の実施
  - ②人間ドック補助制度の継続



各種健診(検診)の実施

### ●生活援護

- (1) 生活保護・低所得者福祉
  - ①生活相談窓口体制の充実
  - ②就労にむけての支援
- (2) ひとり親家庭福祉
  - ①児童扶養手当などの支給に向けた調整
  - ②保健師や専門員による相談体制の確立
- (3) 福祉企業センター
  - ①利用者のための作業環境の整備
  - ②施設改修を含めた運営形態の見直し

### ●障がい者(児)福祉

- 障がい者(児)福祉の充実
- ①相談支援体制の整備
  - ②グループホームなどの生活拠点施設の誘致、整備
  - ③障がい者が社会参加できる仕組みづくり

# Ⅲ 自然とともに 安全で 住みよい 村づくり

## ●社会基盤

- (1) 地域公共交通
  - ① 聖高原駅構内のエレベーター設置及び篠ノ井線複線化等に関するJR長野支社への働きかけ
  - ② 「乗って残す」「積極的に利用する」ことによる持続可能な地域公共交通の仕組みづくり
- (2) 村営バス  
住民の利用意向を踏まえた地域密着の運行システムの構築
- (3) 道路網
  - ① 集落内の通行困難箇所の整備
  - ② 通学路を含めた歩道施設などの設置
- (4) 上水道  
長寿命化を考慮した維持管理計画
- (5) 下水道
  - ① 長寿命化計画による麻績アクアセンター設備の修繕・更新
  - ② 麻績アクアセンターにおける、し尿・合併浄化槽の汚泥処理の検討
- (6) 住宅環境
  - ① 既設村営住宅の「公営住宅等長寿命化計画」策定による改修などの検討
  - ② 若者定住促進住宅等の新たな整備計画の推進
- (7) 地域情報通信  
幹線光ファイバーケーブル網活用による、高速インターネットサービス事業の加入促進・有効活用



若者定住促進住宅



野口橋の竣工



新しい村営バス

## ●環境保全

- (1) 環境保全
  - ① 環境施策の総合的な推進
  - ② 家庭用太陽光発電設備設置の補助
- (2) ごみ処理
  - ① 収集回数などの地域住民の要望への検討
  - ② 生ごみの収集処理による可燃ごみの減量化



新たな生ごみ処理の実施

## ●防災

- (1) 治山・治水
  - ① 除間伐や補植などの森林整備
  - ② 溪流整備やえん堤整備による土石流対策
  - ③ 地域で行う河川整備等への支援による水に親しむ環境づくり
- (2) 消防
  - ① 自主防災組織等に対する定期的な訓練を通じた住民の防火意識の高揚を推進
  - ② 他地域からの移住者等に向けた広報活動による新たな入団希望者の確保
- (3) 防災体制
  - ① 避難所となる公共施設の安全対策・設備の充実
  - ② 各地区での「災害時住民支え合いマップ」作成



ちびっこ消防団活動

## ●土地利用

- (1) 土地利用
  - ① 遊休荒廃農地の解消
  - ② 「麻績村における再生可能エネルギー発電施設設置事業と環境等との調和に関する条例」に基づく貴重な自然環境と事業との調和
- (2) 地籍調査
  - ① 地区の集会に出席し事業の趣旨や内容の説明
  - ② 名義人及び住所などを把握するための関係機関との連絡体制

## ●生活安全

- (1) 生活安全
  - ① 関係機関における国、県道の危険箇所への要請
  - ② 交通安全関係団体と協力し一層の啓発活動
- (2) 防犯
  - ① 青色防犯パトロールの実施
  - ② 各地区が行う防犯灯整備への支援
- (3) 消費者保護
  - ① 出前講座や学習会など直接対面での啓発活動
  - ② 相談者に寄り添い、迅速に対応できる体制づくり

# IV

## 地域資源を生かした 元気あふれる 村づくり

### ●観光

#### 観光事業の振興

- ①外国人等観光客や高齢者に配慮した施設整備・施設の統廃合
  - ②広域的な観光推進体制・相互連携によるインバウンド需要への対応
  - ③麻績村全体を観光地として捉え、観光客を迎え入れるための環境整備
- ※インバウンド…「外から中に」という意で、観光分野では外国人の訪日旅行を指す。



東京ヒルクライム(OMIステージ)



聖高原納涼煙火大会



おみの星空キャンドルまつり

### ●農業

#### 地域営農の活性化

- ①新規就農者、担い手、集落営農組織などに対する支援の強化
- ②地域おこし協力隊事業を活用した将来の担い手育成の推進
- ③「NPO法人おみごと」と連携した遊休荒廃農地の抑制
- ④「麻績ブランド」化の推進



NPO法人おみごとの活動

### ●商工業

#### 商工業の活性化

- ①若い後継者の育成支援による商工業の活性化
- ②空き店舗活用の検討
- ③テレワークという新たな働き方の創設、企業誘致、若者起業支援、ICT教育環境整備による学習塾などの教育関連産業の推進
- ④各種制度を有効活用した企業支援



麻績村ゆりの木公園テレワークセンターの竣工

### ●林業

#### 林業の振興

- ①村有林・里山整備の推進
- ②松くい虫被害への対策
- ③有害鳥獣被害への支援、関係機関との連携による有害鳥獣の駆除及び防除の推進
- ④県産木材の利用や木材産業の振興の推進



## ●地域づくり

## (1) 地域コミュニティ

- ①地域コミュニティへの活動支援
- ②外部人材を活用する仕組みづくり

## (2) 地域交流

- ①ふるさと麻績村応援団事業による情報発信や交流人口増加の推進
- ②地域の特色を生かしたイベント支援



農業体験ツアーの実施



市野川神社の神楽



天王社の春祭り



聖太鼓



魚のつかみどり



交通ネットワークを活かした村へ

## ●人口増加対策

## (1) 定住環境づくりと定住促進

- ①子どもを産み育てやすい環境づくり
- ②移住や二地域居住を希望する者への情報の提供・支援体制の充実
- ③「半農半X」などの新しい働き方の推進
- ④移住希望者への就職支援

## (2) 結婚支援

関係団体や民間事業者と連携した婚活イベントの検討

# VI 信頼を深め 住民とともに進める 村づくり

## ●住民参加による行政の推進

住民との協働による仕組みづくり

- ①各種計画や事業等の計画段階からの住民参加
- ②地域の課題解決のための外部人材の活用



各種団体や住民を交えたイベント  
麻績宿灯ものがたり



地方創生シンポジウムの開催



住民参加の会議

## ●財政

長期的視野による行財政の運営

- ①簡素で効率的な行財政システムの構築
- ②行政と住民による協働の原則に基づいた適正な役割分担と負担制度導入への推進

## ●行政

住民社会ニーズへの対応

- ①住民社会ニーズに対応した事務事業の見直し
- ②民間活力を活用した効率的で質の高い行政運営の推進
- ③専門分野などの人材を確保し、能率的運営の推進



幅広い意見の取り入れ(子ども議会)

## ●情報通信ネットワーク

情報資産に対する継続的なセキュリティ対策

- ①情報技術を検証し、必要な情報通信基盤整備の更新
- ②インターネットを利用した電子申請サービスやマイナポータルを使ったサービスの積極的な活用

## ●情報資産の管理

適正文書管理・セキュリティ対策

公文書の管理方法、公文書公開、個人情報保護などによる総合的な見直しの検討

## ●広報・広聴

住民と行政との情報共有の推進

- ①ホームページや広報紙の充実
- ②手紙・メール・FAXなどによる意見・提言の受け付け



リニューアルしたホームページ